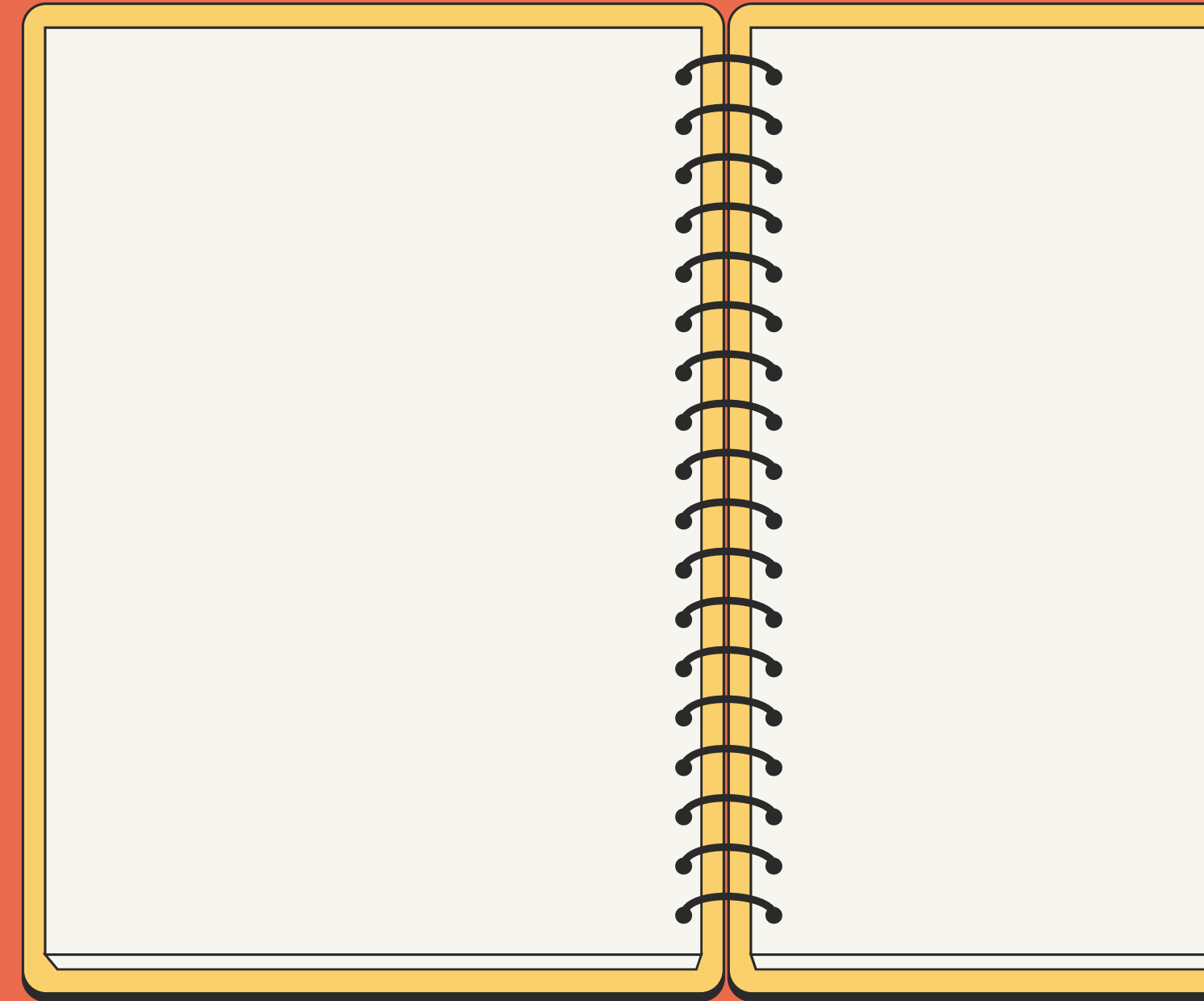


第10回

おんらいん
読書会

2024/01/10

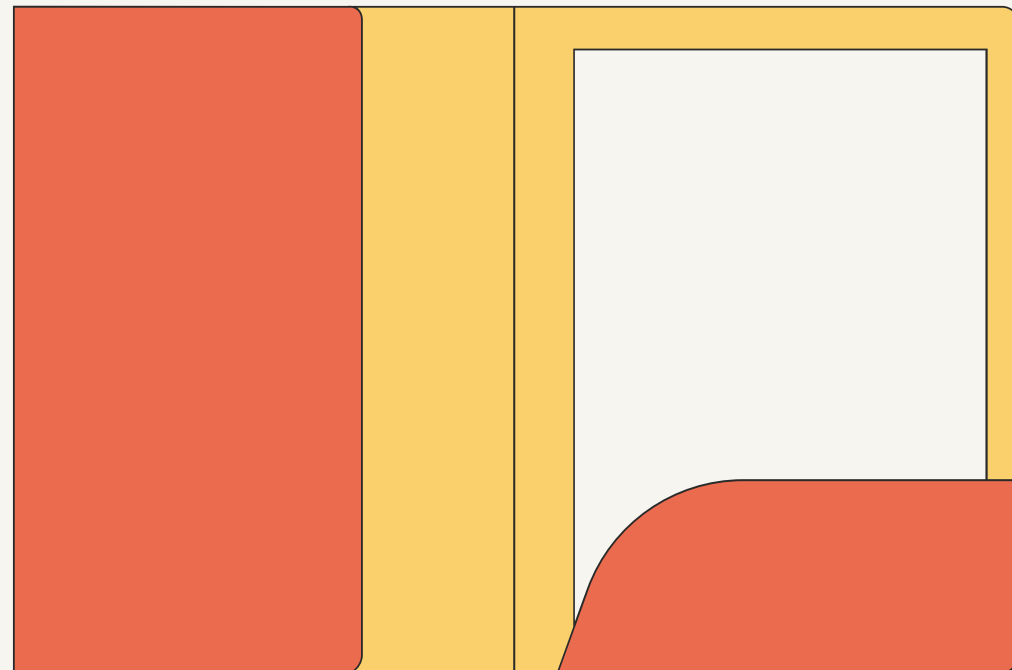
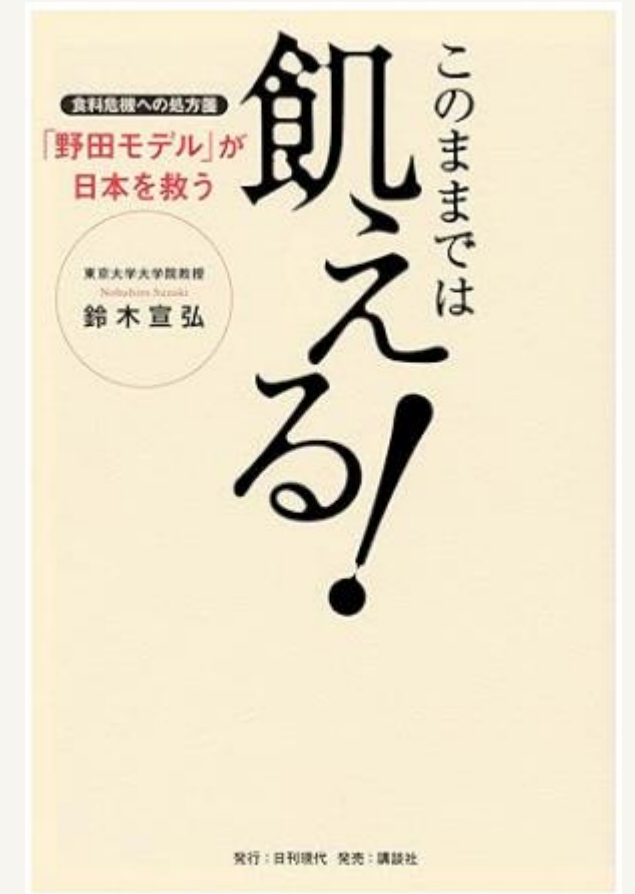


最近読んだ本



01

このままでは飢える
「野田モデル」が日本を救う



02

小林カツ代と栗原はるみ (途中)

■日本の食料自給率は38%（カロリーベース）とされているが、実質的にはもっと低い。

→野菜の自給率は80%と言われているが、種は海外からの輸入が90%。

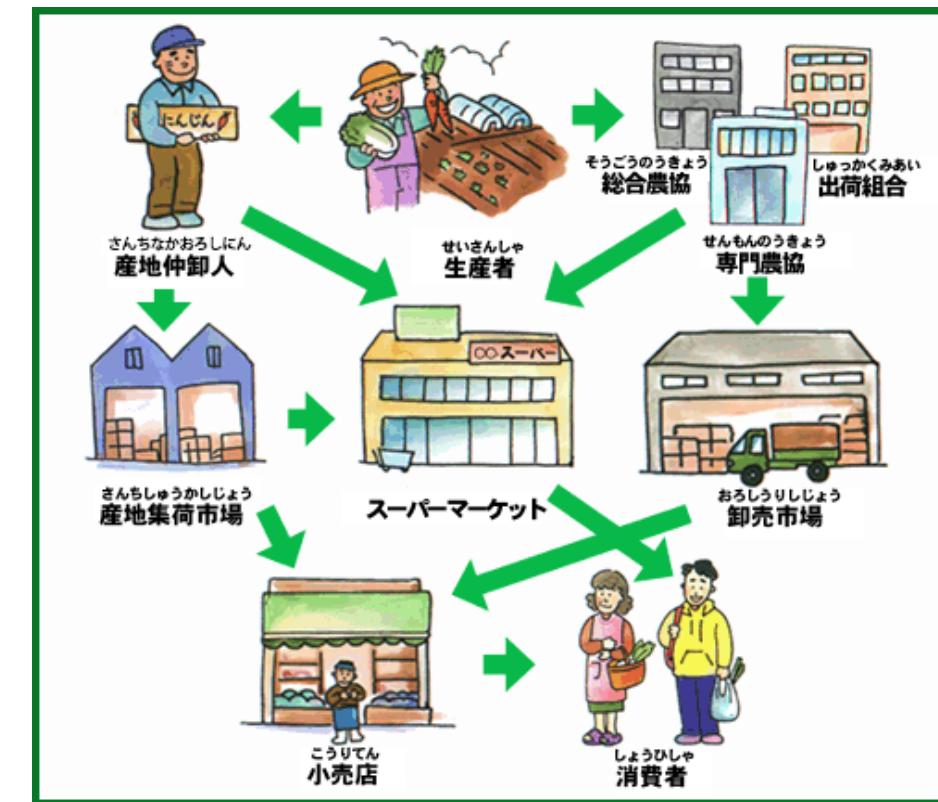
肥料もほぼ100%海外に依存している。

中国の爆買い、戦争によって弱点が露呈。

■農林水産省は弱い、経済産業省は強い。

→経済発展を優先した政策。

GDP2%になる防衛費は10兆円、農水予算は2兆円。



■価格決定権を握っているのは、大手小売チェーンであり、生産者の発言力は弱い。

→「いくらで売るから」が決まったうえで仕入れされる。いくらいいものを作っても、

小売りが高値で売ってくれなければ農家さんは儲からない。

■おじいちゃんの小遣いではない直販店「野田モデル」。

→大きな違いは独自の物流があり、多店舗展開ができることにある。

また、農家が持ち込んで、価格を決められる。また、生産者の名前を掲げることができる。

売れ残りも農家が責任を持つ。

のりの産地をご紹介します！

昔からのりは食卓に欠かせない食品として親しまれ、周辺を海で囲まれている日本では多くの場所で養殖が行われて収穫されています。豊かな味と風味は、まさに海からのおいしい恵みです。

産地ごとに味が違ってました！

